

# 都市再生整備計画

くずりゅういずみちく  
九頭竜和泉地区

ふくい おおのし  
福井県 大野市

平成 28 年 1 月 29 日



都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><u>整備方針1:住民が安心して暮らすことのできる生活環境の向上を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海側特有の気候で特別豪雪地帯に指定されている本地区は多い時で3mの積雪がある。自分の生まれ育った地域で生活していくための対策を行っています。</li> <li>・高齢者をはじめ、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境づくりとして公共公益施設のバリアフリー化を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー対応トイレ整備事業(基幹 高質空間形成施設:障害者誘導)</li> </ul>
<p><u>整備方針2:恵まれた地域資源を生かした地域内外との交流の促進や、観光の推進を図る。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線開通を見据え、県内外の来訪者をターゲットとした情報発信を兼ね備えた広場整備を行うことにより、東の玄関口としての役割を果たしていきます。</li> <li>・九頭竜川の源流に代表される広大な自然環境は地域資源の宝庫である。化石に代表される財産を活用した観光交流センターを整備することにより、これ以上人口規模を減少させないことに加えて地域の活力を支えていく交流人口の増加を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和泉ふれあい広場整備事業(基幹 地域生活基盤施設:緑地・広場)</li> <li>・情報発信整備事業(基幹 地域生活基盤施設:情報板)</li> <li>・(仮称)結の故郷化石発掘体験センター整備事業(基幹 高次都市施設:観光交流センター)</li> </ul>
<p><u>整備方針3:和泉地区の新たなコミュニティを形成する仕組みづくりを推進する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分散したコミュニティ形成施設を集約した施設整備を行い、住民主体による地域づくりを目指していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)和泉地域ふれあい交流センター整備事業(基幹 高次都市施設:地域交流センター)</li> </ul>
<p>その他</p>	

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費		863.0		交付限度額		345.2		国費率		0.4		(金額の単位は百万円)				
基幹事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
	道路															
	公園															
	古都及び緑地保全事業															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設(緑地・広場)	和泉ふれあい広場整備	大野市	直	2箇所	29	29	29	29	33	33.0	33.0		33.0		
	地域生活基盤施設(情報板)	情報発信整備	大野市	直	3箇所	30	30	30	30	25	25.0	25.0		25.0		
	高質空間形成施設(障害者誘導施設)	バリアフリー対応公衆トイレ整備	大野市	直	1棟	29	30	29	30	21	21.0	21.0		21.0		
	高次都市施設(地域交流センター)	(仮称)和泉地域ふれあい交流センター	大野市	直	1棟	31	32	31	32	614	614.0	614.0		614.0		
	高次都市施設(観光交流センター)	(仮称)結の故郷化石発掘体験センター	大野市	直	1棟	28	29	28	29	170	170.0	170.0		170.0		
	中心拠点誘導施設															
	生活拠点誘導施設															
	高齢者交流拠点誘導施設															
	既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)															
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	市街地再開発事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型														
		沿道等整備型														
		密集住宅市街地整備型														
		耐震改修促進型														
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
合計											863.0	863.0	863.0	0	863.0	…A
提案事業(継続地区の場合のみ記載)																
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費		
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度							
合計											0.0	0.0	0.0	0	0.0	…B
											合計(A+B)		863.0			
(<参考>関連事業)																
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いづれかに○)				事業期間		全体事業費					
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度						
合計													0			

都市再生整備計画の区域

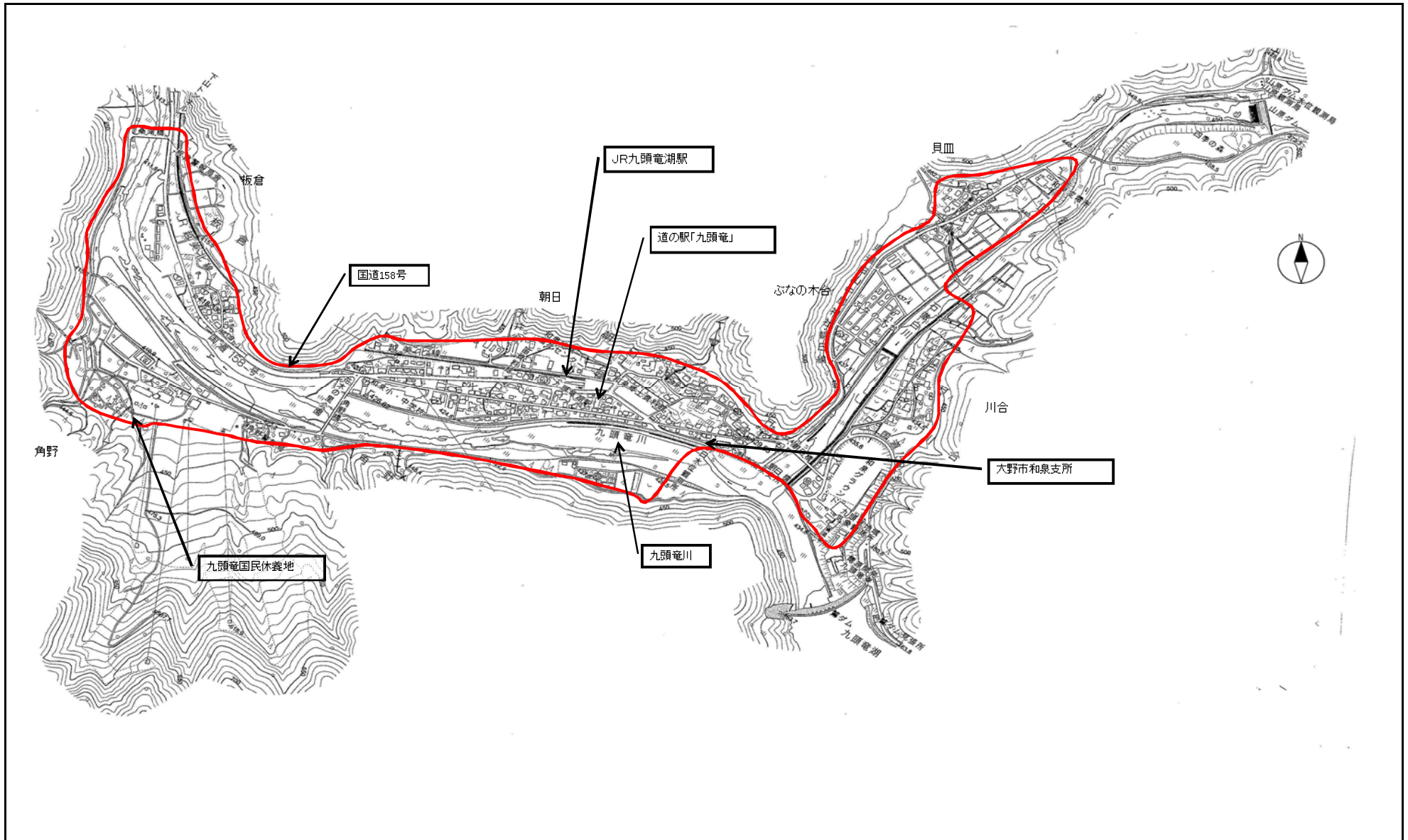
九頭竜和泉地区(福井県大野市)

面積

98 ha

区域

朝日、川合、ぶなの木台、貝皿、板倉、角野



【提出様式】

# まちづくり交付金の事前評価チェックシート

地方整備局名 近畿 都道府県名 福井県 市町村名 大野市 地区名 九頭竜和泉地区

## I. 目標の妥当性

チェック欄

①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。 (該当するものに○) ①. 中心市街地活性化 2. 防災 3. 少子高齢化 4. 人口定着 5. 観光・交流 6. アメニティ 7. 交通利便性 8. 都市活力 9. 地域コミュニティ 10. その他	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 (該当するものに○) ①. 市町村総合計画 2. 都道府県長期計画 3. 都市再生緊急整備地域 4. 構造改革特別区域 5. 地域再生計画 6. 全国都市再生モデル調査 7. 被災市街地 8. 中心市街地活性化計画 9. その他	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い。	○

## II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

## III. 計画の実現可能性

⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○